

令和4年度入学者用

学修キャリアノート



鳴門教育大学

学籍番号

氏名

鳴門教育大学 学校教育学部

目 次

○学修キャリアノートについて……………	1
・4年間の学びを深めるために……………	3
・教員として身につけておくべき資質・能力とその内容（別表）……………	5
・授業省察記録欄への記入について……………	6
・授業省察記録欄への記入を必須とする授業科目一覧……………	6
○授業省察記録 教育実践コア科目……………	9
○授業省察記録 教職共通科目……………	15
○授業省察記録 授業科目名記載なし……………	63
○教員としての資質・能力の形成に関する自己省察……………	95
○教員の押印もしくは署名欄……………	113
○教職に関するボランティア経験の状況	

学修キャリアノートについて



4 年間の学びを深めるために

本学では、教師として身につけておくべき資質・能力（＝教師力）として、別表に示すように、教育者としての人間性、協働力、子ども支援力・指導力、保育・授業実践力、省察力の5領域を想定し、それぞれを資質・能力（項目）別に区分しています。さらに、これらの資質・能力の修得に向けて、いくつかの到達目標を設定しています。教師として身につけておくべき資質・能力について理解し、自分自身の到達目標を設定しながら、4年間の学びを進めてください。そのためのツールが、この学修キャリアノートです。

大学では、高等学校までと比べ、より自主的・能動的な学習態度が求められます。特に、教職を目指す学生には、自己をふりかえり自己の課題を見いだす自己省察力を身につけることが求められます。子どもの心の育成に携わる職業である教師に必要な資質・能力は、教職課程での科目履修によってのみ身につくものではありません。さまざまな課外活動や教育に関わるボランティア経験から学ぶことも大きなウエイトを占めています。

この学修キャリアノートは、授業省察記録欄、教員としての資質・能力の形成に関する自己省察の順に綴じられた冊子と、ボランティア状況記録用紙が綴じられた冊子によって構成されています。授業省察記録欄には、各授業を聴講して気づいたことや考えたことを記入します。教員としての資質・能力の形成に関する自己省察には、5領域16項目の資質・能力に向けての到達目標が記載されていますので、定期的に自己をふりかえり、それぞれの目標に対する自己の状況と課題を記入します。記入する内容は学年により異なり、各学年の最初のページに記載されています。ボランティア状況記録用紙には、教職に関わるボランティア経験の内容と学んだことを記入します。

この学修キャリアノートをとおした取り組みは、自己の学修の成果や課題を確認する手助けになります。そして、教職に就くために必要かつ有用な知識や技能を身につけるのに役立ちます。自己を省察し学びを深めるために、学修キャリアノートを活用しましょう。

また、学修キャリアノートと併せて活用してほしいのが、カリキュラム・ガイドブック電子版のNICESです。NICESでは、教員としての資質・能力の修得状況を総合的に確認することができますので、学修キャリアノートにおける「授業省察記録」や「教員としての資質・能力の形成に関する自己省察」を記入する際に活用してください。

提出時期・提出先

(1) 授業省察記録，ボランティア状況記録，マイカリキュラム・チェックリストおよびグラフ：

年2回 ※一部NICESから出力

○前期分：授業省察記録およびボランティア状況記録は夏休みに記入し、マイカリキュラム・チェックリストはNICES上で9月中に評価し、グラフと共に印刷して学修キャリアノートに綴じて、後期のはじめ（10月第1週）に提出する。

○後期分：授業省察記録およびボランティア状況記録は春休みに記入し、マイカリキュラム・チェックリストはNICES上で3月中に評価し、グラフと共に印刷して学修キャリアノートに綴じて、次年度の4月第2週に提出する。

ただし、4年次生は「教職実践演習」終了後、2月中に提出する。

- 1年次前期～2年次前期分は、クラス担当教員等に提出する。
 - 2年次後期～3年次後期分は、卒業研究（ゼミ）指導教員等に提出する。ただし、指導教員が未定の場合は、クラス担当教員に提出する。
 - 4年次前期～4年次後期分は、教職実践演習担当教員に提出する。
- (2) 教員としての資質・能力の形成に関する自己省察：年1～2回
- 1～3年次分：春休みに記入し、2～4年次の4月第2週に提出する。
（1年次分はクラス担当教員等、2～3年次分は、ゼミの先生等に提出する。ただし、指導教員が未定の場合は、クラス担当教員に提出する。）
 - 「教職実践演習」終了時にも記入し、後期担当教員に提出する。
- (3) カリキュラムマップ：年1回（新入生のみ） ※ NICES から出力
- 1年次の6月中に NICES から印刷し、キャリアノートに綴り、前期分の学修キャリアノート確認時（10月第1週）にクラス担当教員等に提出する。
- (4) 授業履修計画グラフ：年2回 ※ NICES から出力
- 前期分：7月中に NICES から印刷し、学修キャリアノートに綴り、前期分の学修キャリアノート確認時（10月第1週）に提出する。
 - 後期分：12月中に NICES から印刷し、学修キャリアノートに綴り、後期分の学修キャリアノート確認時（次年度4月第2週）に提出する。
ただし、4年次生は「教職実践演習」終了後、2月中に提出する。
 - 1年次前期～2年次後期分は、クラス担当教員等に提出する。
 - 3年次前期～3年次後期分は、卒業研究（ゼミ）指導教員等に提出する。ただし、指導教員が未定の場合は、クラス担当教員に提出する。
 - 4年次前期～4年次後期分は、教職実践演習担当教員に提出する。

※学修キャリアノートは非常に重要なものであり、「教職実践演習」（4年次、必修）の授業でも使用します。保管には十分に気をつけてください。なくした場合（盗難による場合を含む）は、もう一度はじめから記入し、教員の印鑑等も再度もらいにいくことが必要となります。

別表・教員として身につけておくべき資質・能力とその内容

教員としての 資質・能力 (領域)	教員としての 資質・能力 (項目)	スタンダード (評価基準)		
教育者としての 人間性	使命感	教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする意識を持って、指導に当たることができる。		
	倫理観	高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職務を果たすことができる。		
	教育的愛情	子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。		
	探究心	教育だけでなく様々な分野や事象に対して広く関心を持ち、自らの力量向上に向け、日々探究し続けようとする。		
	教養	社会人として生涯にわたって基盤となる幅広い教養とスキルを身につける。		
協働力	対人関係能力	教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。		
	協調性	組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して職務をリーダーシップを発揮しながら遂行することができる。		
	社会性	保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。		
子ども支援力・ 指導力	基本的態度	子どもに対して公正かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。		
	個人指導力	子どもの発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。		
	集団指導力	子どもとの間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、子どもが互いに高め合える、規律ある学級経営を行うことができる。		
保育・授業実践 力	教科内容・保 育内容の理解	教科等の背景にある専門諸科学・芸術に関する豊かな知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し、授業づくりに活かすことができる。	教科等の背景にある専門諸科学・芸術の知識と探究方法の理解	
			教科内容・保育内容という観点からの専門諸科学・芸術の知識・方法の解釈	
	構想力	教科書や学習指導要領の内容の理解を基盤にして、適切な教育目標を設定し、それを達成する授業を構想することができる。	子どもの学習における実態の理解・把握	子どもの授業目標の分類と把握
			授業構成 (教育内容の構成/教材の選択・構成/授業課程の組織/学習法・学習形態の選択・構成)	単元計画 (単元 (授業) 計画の作成/学習指導案の作成/学習評価計画の作成)
			基礎的・基本的な授業態度 (音声・表情・所作等)	教授活動の構成と展開 (個や集団への配慮/説明/助言・指示/板書/教材・教具の開発)
展開力	話し方、書き方、表情など基本的な表現力を基盤にして、様々な教育技術を駆使して、教育目標を達成する教授・学習活動を展開することができる。	学習活動の喚起と促進 (授業の流れや分節化への考慮/発問/子どもの発言・行為への対応/学習環境の構成とマネジメント/学習活動への即時的対応)	学習活動に対する評価 (形成的評価/机間巡視/学習評価法の工夫)	
		評価力	子どもの反応や学習の定着状況を考慮又は想定して、省察的に授業計画や学習形態等を検討し改善できる。	
省察力	変化する学校現場の状況の中で、自己の教育実践を絶えず反省・評価し、改善していくことができる。			

授業省察記録欄への記入について

※以下の「授業省察記録欄への記入を必須とする授業科目一覧」にあげている授業科目については、履修した場合には、必ず記入すること。これ以外の科目については必ずしも記入を要しませんが、「授業科目名記載なしのページ」を活用し、積極的に記入することをおすすめします。再履修の科目についても、「科目名記載なしのページ」を利用しましょう。

授業省察記録欄への記入を必須とする授業科目一覧

○教育実践コア科目	英語科教育論Ⅰ……………24
幼児教育実践基礎演習,	英語科教育論Ⅱ……………24
初等中等教育実践基礎演習,	英語科教育論Ⅲ……………25
特別支援教育実践基礎演習……………11	英語科教育論Ⅳ……………25
初等中等教科教育実践Ⅰ……………11	中等社会科教育論……………26
初等中等教科教育実践Ⅱ……………12	中等社会科授業論……………26
初等中等教科教育実践Ⅲ……………12	社会科・地理歴史科教材論……………27
幼児教育実践,	社会科・公民科教材論……………27
学校教育実践Ⅰ（授業設計）……………13	数学科教育論……………28
学校教育実践Ⅱ（授業省察）……………13	数学科教材論……………28
学校教育実践Ⅲ（子ども・学級理解）……………14	数学科授業論……………29
ICT活用教科教育実践演習……………14	数学科教育学特論……………29
○教職共通科目	中等理科教育論Ⅰ……………30
初等国語科教育論……………17	中等理科教育論Ⅱ……………30
初等社会科教育論……………17	中等理科教育論Ⅲ……………31
算数科教育論……………18	中等理科教育論Ⅳ……………31
初等理科教育論……………18	中等音楽科教育論……………32
生活科教育論……………19	中等音楽科授業論……………32
初等音楽科教育論……………19	中等音楽科教材論……………33
図画工作科教育論……………20	中等音楽科教育特論……………33
体育科教育論……………20	美術科教育論……………34
初等家庭科教育論……………21	美術科授業論……………34
初等英語科教育論……………21	美術科教材論……………35
中等国語科教材論……………22	美術科教育特論……………35
中等国語科教育論……………22	保健体育科教育論Ⅰ……………36
中等国語科授業論……………23	保健体育科教育論Ⅱ……………36
国語科教育特論……………23	保健体育科教育論Ⅲ……………37
	保健体育科教育論Ⅳ……………37

技術科教育論Ⅰ	38	総合的な学習の時間の指導法	52
技術科教育論Ⅱ	38	特別活動指導論	52
技術科教育論演習Ⅰ	39	教育学	53
技術科教育論演習Ⅱ	39	生徒指導論（進路指導を含む。）	53
工業科教育論Ⅰ	40	いじめ防止論	54
工業科教育論Ⅱ	40	教育相談論	54
中等家庭科教育論	41		
中等家庭科授業論	41	ふれあい実習（初等），	
中等家庭科教材論	42	ふれあい実習（中等）	55
中等家庭科教育特論	42	附属校園観察実習（初等），	
		附属校園観察実習（中等）	55
幼児教育課程論	43	主免教育実習（初等），	
保育内容総論	43	主免教育実習（中等）	56
保育内容（人間関係）	44	主免教育実習事前事後指導（初等）【前期】，	
保育内容（環境）	44	主免教育実習事前事後指導（中等）【前期】	56
保育内容（言葉）	45	主免教育実習事前事後指導（初等）【後期】，	
保育内容（表現Ⅰ）	45	主免教育実習事前事後指導（中等）【後期】	57
保育内容（表現Ⅱ）	46	副免教育実習（初等），	
保育内容（健康）	46	副免教育実習（中等）	57
幼児理解と保育実践の心理学	47	教員インターンシップ	58
		施設実習	58
人間形成原論	47	保育所実習Ⅰ	59
教職論	48	保育所実習Ⅱ	59
教育制度・経営論	48	保育実習指導	60
教育社会学	49	特別支援教育専修実習	60
教育心理学（発達心理を含む。）	49	特別支援教育実習	61
学校教育心理学演習	50	教職実践演習（幼・小・中・高）【前期】	61
特別支援教育概論	50	教職実践演習（幼・小・中・高）【後期】	62
教育課程論（校種間連携を含む。）	51		
道徳教育指導論	51		

授業省察記録

教育実践コア科目

授業省察記録

授業科目 幼児教育実践基礎演習 初等中等教育実践基礎演習 () 特別支援教育実践基礎演習	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 初等中等教科教育実践 I ()	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 幼児教育実践 学校教育実践Ⅰ（授業設計）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 学校教育実践Ⅱ（授業省察）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 学校教育実践Ⅲ（子ども・学級理解）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 ICT活用教科教育実践演習	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

教職共通科目

授業省察記録

授業科目 初等国語科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 初等社会科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 算数科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 初等理科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 生活科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 初等音楽科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 図画工作科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 体育科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 初等家庭科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 初等英語科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等国語科教材論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等国語科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等国語科授業論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 国語科教育特論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 英語科教育論Ⅰ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 英語科教育論Ⅱ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 英語科教育論Ⅲ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 英語科教育論Ⅳ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等社会科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等社会科授業論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 社会科・地理歴史科教材論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 社会科・公民科教材論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 数学科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 数学科教材論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 数学科授業論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 数学科教育学特論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等理科教育論 I	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等理科教育論 II	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等理科教育論Ⅲ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等理科教育論Ⅳ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等音楽科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等音楽科授業論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等音楽科教材論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等音楽科教育特論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 美術科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 美術科授業論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 美術科教材論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 美術科教育特論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保健体育科教育論Ⅰ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保健体育科教育論Ⅱ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保健体育科教育論Ⅲ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保健体育科教育論Ⅳ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 技術科教育論Ⅰ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 技術科教育論Ⅱ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 技術科教育論演習Ⅰ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 技術科教育論演習Ⅱ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 工業科教育論Ⅰ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 工業科教育論Ⅱ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等家庭科教育論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等家庭科授業論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等家庭科教材論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 中等家庭科教育特論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 幼児教育課程論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保育内容総論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保育内容（人間関係）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保育内容（環境）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保育内容（言葉）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保育内容（表現Ⅰ）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保育内容（表現Ⅱ）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保育内容（健康）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 幼児理解と保育実践の心理学	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 人間形成原論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 教職論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 教育制度・経営論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 教育社会学	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 教育心理学（発達心理を含む。）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 学校教育心理学演習	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 特別支援教育概論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 教育課程論（校種間連携を含む。）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 道徳教育指導論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 総合的な学習の時間の指導法	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 特別活動指導論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 教育工学	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 生徒指導論（進路指導を含む。）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 いじめ防止論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 教育相談論	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 ふれあい実習（初等） ふれあい実習（中等）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 附属校園観察実習（初等） 附属校園観察実習（中等）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 主免教育実習（初等） 主免教育実習（中等）	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 主免教育実習事前事後指導（初等）【前期】 主免教育実習事前事後指導（中等）【前期】	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 主免教育実習事前事後指導(初等)【後期】 主免教育実習事前事後指導(中等)【後期】	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 副免教育実習(初等) 副免教育実習(中等)	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 教員インターンシップ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 施設実習	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保育所実習Ⅰ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保育所実習Ⅱ	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 保育実習指導	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 特別支援教育専修実習	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 特別支援教育実習	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 教職実践演習（幼・小・中・高）【前期】	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目 教職実践演習（幼・小・中・高）【後期】	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目名記載なし

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

授業省察記録

授業科目	履修年次・期 年次 期	担当教員
<u>気づいたこと・考えたこと</u>		

教員としての資質・能力の形成に関する自己省察



「教員としての資質・能力の形成に関する自己省察」 1年次用

学生の皆さんへ

この「教員としての資質・能力の形成に関する自己省察」は、1年次と2年次の間の春休みに使用してください。1年生のときのことをふりかえり、教員に求められる5つの資質・能力の修得に向けて、自分がどのようなことに取り組んだか、具体的な事例をあげながら書いてください。また、どのような課題を残している（今後、どのような努力が必要である）と思うかについても書いてください。最後に、自己のふりかえり欄を設けていますので、1年間の学修キャリアノートの記入事項を総合して考えたことを書いてください。2年次のはじめに、クラス担当教員に提出してください。提出期限等は、クラス担当教員の指示に従ってください。

記入時期：1年次と2年次の間の春休み

※記入し終えたところまでの日付を記入すること。

教員としての資質・能力		評価基準	自己の取り組み状況と課題
1. 教育者としての人間性	使命感	教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする意識を持って、指導に当たることができる。	
	倫理観	高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職務を果たすことができる。	
	教育的愛情	子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。	
	探究心	教育だけでなく様々な分野や事象に対して広く関心を持ち、自らの力量向上に向け、日々探究し続けようとする。	
	教養	社会人として生涯にわたって基盤となる幅広い教養とスキルを身につける。	(月 日)
2. 協働力	対人関係能力	教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。	
	協調性	組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して、リーダーシップを発揮しながら職務遂行をすることができる。	
	社会性	保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。	(月 日)

教員としての資質・能力	評価基準	自己の取り組み状況と課題
<p>3. 子ども支援力・指導力</p>	<p>基本的態度</p>	<p>子どもに対して公正かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。</p>
	<p>(月 日)</p>	
	<p>個人指導力</p>	<p>子どもの発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。</p>
	<p>(月 日)</p>	
	<p>集団指導力</p>	<p>子どもとの間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、子どもが互いに高め合える、規律ある学級経営を行うことができる。</p>
	<p>(月 日)</p>	

教員としての資質・能力		評価基準		自己の取り組み状況と課題	
4. 保育・授業実践力	教科内容・保育内容の理解	教科等の背景にある専門諸科学・芸術に関する豊かな知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し、授業づくりに活かすことができる。	教科等の背景にある専門諸科学・芸術の知識と探究方法の理解		
			教科内容・保育内容という観点からの専門諸科学・芸術の知識・方法の解釈	(月 日)	
		構想力	教科書や学習指導要領の内容の理解を基盤にして、適切な教育目標を設定し、それを達成する授業を構想することができる。	子どもの学習における実態の理解・把握	
				子どもの授業目標の分類と把握	
	授業構成（教育内容の構成／教材の選択・構成／授業課程の組織／学習法・学習形態の選択・構成）				
	単元計画（単元（授業）計画の作成／学習指導案の作成／学習評価計画の作成）			(月 日)	
	展開力	話し方、書き方、表情など基本的な表現力を基盤にして、様々な教育技術を駆使して、教育目標を達成する教授・学習活動を展開することができる。	基礎的・基本的な授業態度（音声・表情・所作等）		
			教授活動の構成と展開（個や集団への配慮／説明／助言・指示／板書／教材・教具の開発）		
			学習活動の喚起と促進（授業の流れや分節化への考慮／発問／子どもの発言・行為への対応／学習環境の構成とマネジメント／学習活動への即時的対応）		
			学習活動に対する評価（形成的評価／机間巡視／学習評価法の工夫）	(月 日)	
	評価力	子どもの反応や学習の定着状況を考慮又は想定して、省察的に授業計画や学習形態等を検討し改善できる。		(月 日)	

教員としての資質・能力	評価基準	自己の取り組み状況と課題
5. 省察力	変化する学校現場の状況の中で、自己の教育実践を絶えず反省・評価し、改善していくことができる。	
		(月 日)
自己のふりかえり		
(月 日)		
助言と気づき		
(月 日)		

「教員としての資質・能力の形成に関する自己省察」 2年次用

学生の皆さんへ

この「教員としての資質・能力の形成に関する自己省察」は、2年次と3年次の間の春休みに使用してください。2年生のときのことをふりかえり、教員に求められる5つの資質・能力の修得に向けての計16の評価基準（到達目標）に関して、自分がどのようなことに取り組んだか、具体的な事例をあげながら書いてください。また、どのような課題を残している（今後、どのような努力が必要である）と思うかについても書いてください。最後に、自己のふりかえり欄を設けていますので、2年間の学修キャリアノートの記入事項を総合して考えたことを書いてください。3年次のはじめに、卒業研究（ゼミ）の先生（未定の場合は、クラス担当教員）に提出してください。提出期限等は、先生の指示に従ってください。

記入時期：2年次と3年次の間の春休み

※記入し終えたところまでの日付を記入すること。

教員としての資質・能力		評価基準	自己の取り組み状況と課題
1. 教育者としての人間性	使命感	教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする意識を持って、指導に当たることができる。	
	倫理観	高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職務を果たすことができる。	
	教育的愛情	子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。	
	探究心	教育だけでなく様々な分野や事象に対して広く関心を持ち、自らの力量向上に向け、日々探究し続けようとする。	
	教養	社会人として生涯にわたって基盤となる幅広い教養とスキルを身につける。	(月 日)
2. 協働力	対人関係能力	教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。	
	協調性	組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して、リーダーシップを発揮しながら職務遂行をすることができる。	
	社会性	保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。	(月 日)

教員としての資質・能力	評価基準	自己の取り組み状況と課題
<p>3. 子ども支援力・指導力</p>	<p>基本的態度</p>	<p>子どもに対して公正かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。</p> <p>(月 日)</p>
	<p>個人指導力</p>	<p>子どもの発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。</p> <p>(月 日)</p>
	<p>集団指導力</p>	<p>子どもとの間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、子どもが互いに高め合える、規律ある学級経営を行うことができる。</p> <p>(月 日)</p>

教員としての資質・能力		評価基準		自己の取り組み状況と課題	
4. 保育・授業実践力	教科内容・保育内容の理解	教科等の背景にある専門諸科学・芸術に関する豊かな知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し、授業づくりに活かすことができる。	教科等の背景にある専門諸科学・芸術の知識と探究方法の理解		
			教科内容・保育内容という観点からの専門諸科学・芸術の知識・方法の解釈	(月 日)	
		構想力	教科書や学習指導要領の内容の理解を基盤にして、適切な教育目標を設定し、それを達成する授業を構想することができる。	子どもの学習における実態の理解・把握	
				子どもの授業目標の分類と把握	
	授業構成（教育内容の構成／教材の選択・構成／授業課程の組織／学習法・学習形態の選択・構成）				
	単元計画（単元（授業）計画の作成／学習指導案の作成／学習評価計画の作成）			(月 日)	
	展開力	話し方、書き方、表情など基本的な表現力を基盤にして、様々な教育技術を駆使して、教育目標を達成する教授・学習活動を展開することができる。	基礎的・基本的な授業態度（音声・表情・所作等）		
			教授活動の構成と展開（個や集団への配慮／説明／助言・指示／板書／教材・教具の開発）		
			学習活動の喚起と促進（授業の流れや分節化への考慮／発問／子どもの発言・行為への対応／学習環境の構成とマネジメント／学習活動への即時的対応）		
			学習活動に対する評価（形成的評価／机間巡視／学習評価法の工夫）	(月 日)	
	評価力	子どもの反応や学習の定着状況を考慮又は想定して、省察的に授業計画や学習形態等を検討し改善できる。		(月 日)	

教員としての資質・能力	評価基準	自己の取り組み状況と課題
5. 省察力	変化する学校現場の状況の中で、自己の教育実践を絶えず反省・評価し、改善していくことができる。	
		(月 日)
自己のふりかえり		
(月 日)		
助言と気づき		
(月 日)		

「教員としての資質・能力の形成に関する自己省察」 3年次用

学生の皆さんへ

この「教員としての資質・能力の形成に関する自己省察」は、3年次と4年次の間の春休みに使用してください。3年生のときのことをふりかえり、教員に求められる5つの資質・能力の修得に向けての計16の評価基準（到達目標）に関して、自分がどのようなことに取り組んだか、具体的な事例をあげながら書いてください。また、どのような課題を残している（今後、どのような努力が必要である）と思うかについても書いてください。最後に、自己のふりかえり欄を設けていますので、3年間の学修キャリアノートの記入事項を総合して考えたことを書いてください。4年次のはじめに、卒業研究（ゼミ）の先生（未定の場合は、クラス担当教員）に提出してください。提出期限等は、指導教員の指示に従ってください。

記入時期：3年次と4年次の間の春休み

※記入し終えたところまでの日付を記入すること。

教員としての資質・能力		評価基準	自己の取り組み状況と課題
1. 教育者としての人間性	使命感	教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする意識を持って、指導に当たることができる。	
	倫理観	高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職務を果たすことができる。	
	教育的愛情	子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。	
	探究心	教育だけでなく様々な分野や事象に対して広く関心を持ち、自らの力量向上に向け、日々探究し続けようとする。	
	教養	社会人として生涯にわたって基盤となる幅広い教養とスキルを身につける。	(月 日)
2. 協働力	対人関係能力	教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。	
	協調性	組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して、リーダーシップを発揮しながら職務遂行をすることができる。	
	社会性	保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。	(月 日)

教員としての資質・能力	評価基準	自己の取り組み状況と課題	
3. 子ども支援力・指導力	基本的態度	子どもに対して公正かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。	
	(月 日)		
	個人指導力	子どもの発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。	
(月 日)			
集団指導力	子どもとの間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、子どもが互いに高め合える、規律ある学級経営を行うことができる。		
	(月 日)		

教員としての資質・能力		評価基準		自己の取り組み状況と課題	
4. 保育・授業実践力	教科内容・保育内容の理解	教科等の背景にある専門諸科学・芸術に関する豊かな知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し、授業づくりに活かすことができる。	教科等の背景にある専門諸科学・芸術の知識と探究方法の理解		
			教科内容・保育内容という観点からの専門諸科学・芸術の知識・方法の解釈	(月 日)	
		構想力	教科書や学習指導要領の内容の理解を基盤にして、適切な教育目標を設定し、それを達成する授業を構想することができる。	子どもの学習における実態の理解・把握	
				子どもの授業目標の分類と把握	
	授業構成（教育内容の構成／教材の選択・構成／授業課程の組織／学習法・学習形態の選択・構成）				
	単元計画（単元（授業）計画の作成／学習指導案の作成／学習評価計画の作成）			(月 日)	
	展開力	話し方、書き方、表情など基本的な表現力を基盤にして、様々な教育技術を駆使して、教育目標を達成する教授・学習活動を展開することができる。	基礎的・基本的な授業態度（音声・表情・所作等）		
			教授活動の構成と展開（個や集団への配慮／説明／助言・指示／板書／教材・教具の開発）		
			学習活動の喚起と促進（授業の流れや分節化への考慮／発問／子どもの発言・行為への対応／学習環境の構成とマネジメント／学習活動への即時的対応）		
			学習活動に対する評価（形成的評価／机間巡視／学習評価法の工夫）	(月 日)	
	評価力	子どもの反応や学習の定着状況を考慮又は想定して、省察的に授業計画や学習形態等を検討し改善できる。		(月 日)	

教員としての資質・能力	評価基準	自己の取り組み状況と課題
5. 省察力	変化する学校現場の状況の中で、自己の教育実践を絶えず反省・評価し、改善していくことができる。	
		(月 日)
自己のふりかえり・4年次の教育実習に向けての課題		
(月 日)		
助言と気づき		
(月 日)		

「教員としての資質・能力の形成に関する自己省察」 4年次教職実践演習用

学生の皆さんへ

この「教員としての資質・能力の形成に関する自己省察」は、本学における学びの集大成として4年次に開講される「教職実践演習」の終了時に使用します。教員としての5つの資質・能力について、自己の目標達成状況と残された課題（今後、どのような努力が必要であるか）について書いてください。最後に、自己のふりかえり・抱負欄を設けていますので、「教職実践演習」における自己の活動を総合して考えたこと、将来に向けての計画などを書いてください。提出時期等については、教職実践演習担当の先生の指示に従ってください。

記入時期：4年次「教職実践演習」終了時

教員としての資質・能力		評価基準	自己の取り組み状況と課題
1. 教育者としての人間性	使命感	教育に対する使命感や情熱を持ち、常に子どもから学び、共に成長しようとする意識を持って、指導に当たることができる。	
	倫理観	高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職務を果たすことができる。	
	教育的愛情	子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。	
	探究心	教育だけでなく様々な分野や事象に対して広く関心を持ち、自らの力量向上に向け、日々探究し続けようとする。	
	教養	社会人として生涯にわたって基盤となる幅広い教養とスキルを身につける。	(月 日)
2. 協働力	対人関係能力	教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。	
	協調性	組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して、リーダーシップを発揮しながら職務遂行をすることができる。	
	社会性	保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。	(月 日)

教員としての資質・能力	評価基準	自己の取り組み状況と課題
3. 子ども支援力・指導力	基本的態度	<p>子どもに対して公正かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。</p> <p>(月 日)</p>
	個人指導力	<p>子どもの発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。</p> <p>(月 日)</p>
	集団指導力	<p>子どもとの間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、子どもが互いに高め合える、規律ある学級経営を行うことができる。</p> <p>(月 日)</p>

教員としての資質・能力		評価基準		自己の取り組み状況と課題	
4. 保育・授業実践力	教科内容・保育内容の理解	教科等の背景にある専門諸科学・芸術に関する豊かな知識と探究方法を理解し、教科内容という観点からその知識や方法を解釈し、授業づくりに活かすことができる。	教科等の背景にある専門諸科学・芸術の知識と探究方法の理解		
			教科内容・保育内容という観点からの専門諸科学・芸術の知識・方法の解釈	(月 日)	
		構想力	教科書や学習指導要領の内容の理解を基盤にして、適切な教育目標を設定し、それを達成する授業を構想することができる。	子どもの学習における実態の理解・把握	
				子どもの授業目標の分類と把握	
	授業構成（教育内容の構成／教材の選択・構成／授業課程の組織／学習法・学習形態の選択・構成）				
	単元計画（単元（授業）計画の作成／学習指導案の作成／学習評価計画の作成）			(月 日)	
	展開力	話し方、書き方、表情など基本的な表現力を基盤にして、様々な教育技術を駆使して、教育目標を達成する教授・学習活動を展開することができる。	基礎的・基本的な授業態度（音声・表情・所作等）		
			教授活動の構成と展開（個や集団への配慮／説明／助言・指示／板書／教材・教具の開発）		
			学習活動の喚起と促進（授業の流れや分節化への考慮／発問／子どもの発言・行為への対応／学習環境の構成とマネジメント／学習活動への即時的対応）		
			学習活動に対する評価（形成的評価／机間巡視／学習評価法の工夫）	(月 日)	
	評価力	子どもの反応や学習の定着状況を考慮又は想定して、省察的に授業計画や学習形態等を検討し改善できる。		(月 日)	

教員としての資質・能力	評価基準	自己の取り組み状況と課題
5. 省察力	変化する学校現場の状況の中で、自己の教育実践を絶えず反省・評価し、改善していくことができる。	
		(月 日)
自己のふりかえり・抱負		
(月 日)		
助言と気づき		
(月 日)		

教員の押印もしくは署名欄

教員の押印もしくは署名				
	1年次	2年次	3年次	4年次
前 期 分	クラス担当教員	クラス担当教員	卒業研究指導教員等	教職実践演習担当教員
	 年 月 日	 年 月 日	 年 月 日	 年 月 日
後 期 分	クラス担当教員	卒業研究指導教員等	卒業研究指導教員等	教職実践演習担当教員
	 年 月 日	 年 月 日	 年 月 日	 年 月 日

令和4年度 学修キャリアノート

令和4年3月発行

編集 鳴門教育大学
教職実践演習実行委員会

教職に関するボランティア経験の状況



教職に関するボランティア経験の状況

学籍番号

氏 名

番号	期間 (回数)	ボランティアの名称 または実施機関名	状況・内容 感想・学んだこと	ボランティア先の コメント・認印
1	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			㊟
2	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			㊟
3	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			㊟
4	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			㊟
5	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			㊟

※コメント・認印は、可能なかぎりボランティア先をお願いする。教員による代行も可とする。

教職に関するボランティア経験の状況

学籍番号 _____

氏 名 _____

番号	期間 (回数)	ボランティアの名称 または実施機関名	状況・内容 感想・学んだこと	ボランティア先の コメント・認印
6	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
7	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
8	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
9	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
10	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印

教職に関するボランティア経験の状況

学籍番号 _____

氏 名 _____

番号	期間 (回数)	ボランティアの名称 または実施機関名	状況・内容 感想・学んだこと	ボランティア先の コメント・認印
	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印

教職に関するボランティア経験の状況

学籍番号 _____

氏 名 _____

番号	期間 (回数)	ボランティアの名称 または実施機関名	状況・内容 感想・学んだこと	ボランティア先の コメント・認印
	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印
	年 月 日 ～ 年 日 月 日 (回)			印